

## 草の根無償「ホコロ市ラグネタス村ラス・アラダス地区診療所建設計画」竣工式

1月13日、有吉大使はモラサン県ホコロ市ラグネタス村ラス・アラダス地区診療所建設計画の竣工式に出席し、テープカットや記念碑除幕等を行いました。式典には、ディアス保健省副大臣、ミランダ被供与団体代表、マルティネス・ホコロ市市長、ロメロ・カンポ財団代表および報道機関関係者を含めた約40人が出席しました。

本計画は、草の根・人間の安全保障無償資金協力によるもので、同地域に新たに診療所（受付・待合室、薬局及び医薬品倉庫、呼吸器疾患治療室、処置室、看護師診察室、診察室、カルテ保管室、水洗トイレ及び浄化槽、シャワー室、洗浄場、会議室、医療廃棄物収集小屋、貯水タンク、スロープ）を建設し、医療環境を改善しました。日本政府からの支援総額は約146,221米ドルです。本計画実施により、同地域の500世帯約2,500名の住民が衛生的な診療所を利用できるようになり、医療サービスへのアクセスが改善しました。

有吉大使は挨拶の中で、本事業を通じてエルサルバドルにおける人間の安全保障の理念を踏まえた開発に日本が貢献できていることは誠に喜ばしく、日本及び日本国民の誇りとするところであると述べた上で、新設された診療所により、同地域に住む住民への医療サービスが向上することを期待している旨述べました。



国家斉唱



ミランダ被供与団体代表スピーチ



マルティネス・ホコロ市市長スピーチ



ロメロ・カンポ財団代表スピーチ



ディアス保健省副大臣スピーチ



有吉大使スピーチ



ホコロ市演劇団体より劇の披露



記念品の贈与



テープカット



記念碑除幕



マクリシュワの植木



診療所視察



診療所



スロープ



処置室



薬局兼医薬品倉庫



乳児体重計



トイレ

### 受益者の声



本日は、この地域にとって歴史的な日であり、竣工式を開催でき嬉しく思います。また、適切な衛生環境が整備された医療施設で、地域住民を診療できることに本当に感謝しております。支援を実施してくれた日本の皆さま、市役所、カンポ財団、保健省および同村の村落開発協会に心からお礼申し上げます。

ホコロ市ラグネタス村ラス・アラダス地区診療所専属医

ガブリエラ・デ・ビジャトロ氏



本日、我々の10年に渡る努力や夢が叶い診療所の竣工式を開催でき本当に嬉しく感じています。本プロジェクトは、地域住民のイニシアティブによって計画されました。心から日本政府、市役所、カンポ財団および保健省の支援および協力に感謝申し上げます。

被供与団体(プログレサンド・アジア・エル・フトゥロ村落開発協会)  
代表理事

ミルトン・ミランダ氏